

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 24-2-006
補助事業名 平成24年度お年寄りが幸せに暮らせる社会を作る活動補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人 いぶりたすけ愛

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

高齢者グループリビングの啓発普及および運営研究を行い、もって社会福祉の増進に寄与する。

(2) 実施内容

①高齢者グループリビングの啓蒙と普及

HP（GLnet）を媒体に運営者やこれから事業を計画しているひと、興味を持つ人に対して情報共有・情報提供・相談をおこなった。

ア. HP記事掲載

- ・「住まい」から生まれる「人」と「人」のつながり
- ・北海道に自立と共生の暮らしを広げる事業 研修会 I N釧路 報告
- ・グループリビング「じゅげむ館きたみ」の紹介
- ・グループリビング「COCO結のき」の紹介
- ・グループリビング「モーニング」の紹介

イ. HP訪問取材

- ・GL「COCO結のき」（山形県米沢市）
- ・GL「モーニング」（福島市）

ウ. 講師派遣

- ・北海道に自立と共生の暮らしを広げる事業 研修会 I N釧路へ講師派遣



GL「ほがら館」を会場に研修会



グループワーク

②高齢者グループリビングの運営研究

「地域へ開くグループリビング～その役割と意義～」をテーマに、先駆的な事業の見学会とワークショップを行った。

参加者の連携とネットワークを強め、相互に刺激を受け高め合うことができた。これから作りたい方の参加もあり、グループリビングの役割と意義を認識する機会となった。

ア. 横浜ワークショップの開催

・2013年2月23・24日

見学会（ふらっとステーション・COCO湘南台）

ワークショップ（神奈川県民ホール）



ふらっとステーション見学会



COCO湘南台見学会



宮本みち子氏講演



パネルディスカッション

2 予想される事業実施効果

① 高齢者グループリビングの啓蒙と普及

- ・HPや会報GLnetによる情報の発信により、グループリビングへの理解が深まった。
- ・高齢社会に向けて、高齢者が主体的に生きる「自立と共生の暮らし」を発信することが、社会の意識改革につながる。

② 高齢者グループリビングの運営研究

- ・ワークショップにはグループリビングを作りたい方々の参加もあり、高齢者が主体的に暮らすことへの取り組みが増加することが期待できる。
- ・運営者にとっては「自立と共生の暮らし」を再確認しグループリビングの生活の質の向上が期待できる。
- ・高齢者の住まい、サービス付高齢者向け住宅などの建築が増えていく中で、高齢者が管理される立場ではなく、主体的に生活することの重要性を伝える動きが期待できる。

3 本事業により作成した印刷物等

GLnet 会報 NO. 1～3
横浜ワークショップ報告書

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 特定非営利活動法人いぶりたすけ愛（トクテイヒエイリカツドウホウ
ジンイブリタスケアイ）
住 所： 〒059-0023
北海道登別市桜木町3丁目2-10
代 表 者： 役職名 理事長 星川光子（ホシカワミツコ）
担 当 者 名： 役職名 理事長 星川光子（ホシカワミツコ）
電 話 番 号： 0143-88-2626
F A X： 0143-81-2345
E - m a i l： iburi-ai@zpost.plala.or.jp
U R L： <http://glnet.sfc.keio.ac.jp>